

一般国道49号

北好間改良

KITAYOSHIMA-KAIRYOU

北好間改良

KITAYOSHIMA-KAIRYOU



北好間改良事業区間全景



国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所
〒970-8026 福島県いわき市平字五色町8-1
TEL 0246-23-2211(代表)

磐城国道事務所ホームページ

検索

携帯サイトQRコード



Future From Fukushima.



このパンフレットは、環境に優しい再生紙とベジタブルインクを使用して印刷しています。

平成31年3月作成



いわき市フラワーセンター



小川諏訪神社



夏井川渓谷



KITAYOSHIMA-KAIRYOU



国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所

北好間改良により線形不良区間に起因する交通事故の抑制や渋滞緩和などを目指します。

北好間改良の事業概要

一般国道49号は、福島県いわき市から新潟県新潟市に至る主要幹線道路です。

本事業は線形不良区間に起因する交通事故の抑制やいわき中央IC入口交差点での渋滞緩和などの主要幹線道路としての機能強化を目的に、福島県いわき市好間町北好間清水地内～同市好間町北好間猪ノ鼻地内に至る延長約2.2kmのバイパスとして事業化しました。

●道路構造諸元

事業計画		構造諸元	
区間	起点:福島県いわき市好間町北好間清水 終点:福島県いわき市好間町北好間猪ノ鼻	構造規格	3種2級
延長	2.2km	設計速度	60km/h
幅員	2.5~0.75~7.0~0.75=11.0(一般部) 0.5~7.0~0.5=8.0(橋梁部)	曲線半径(最小)	160m

●事業経緯

平成23年度 事業着手

平成25年度 用地着手

●標準横断面



▲好間橋付近の線形不良状況(H27.3)

位置図

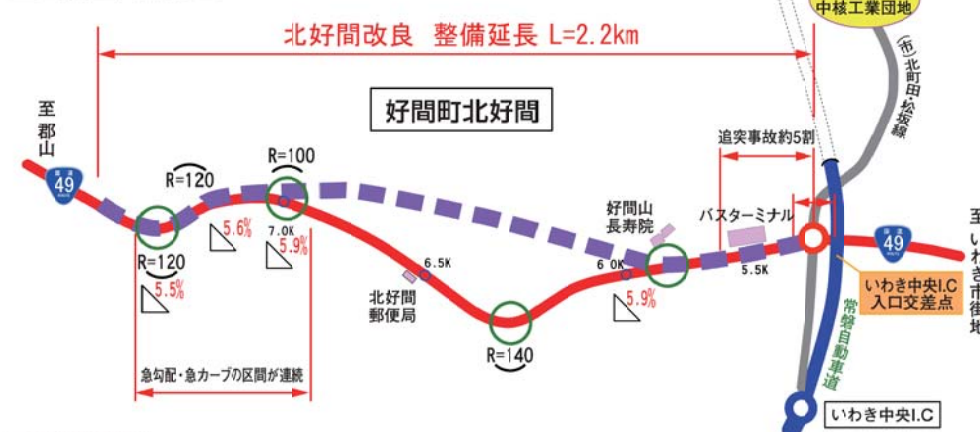


北好間改良の整備効果

北好間地区では、複数の急勾配区間や急カーブ箇所が存在し、これらに起因するとみられる正面衝突事故や路外逸脱事故が多く、死傷事故率が高い区間となっています。また、いわき中央IC交差点で発生する交通渋滞は、いわき市内における経済活動を阻害する要因となっています。

本事業におけるバイパス整備によって、これらの課題を解消・緩和し、幹線道路としての機能性・安全性の向上が期待されます。

■整備区間概要図



■事業効果1

いわき中央IC入口交差点の渋滞解消及び交通事故の削減

●いわき中央IC入口交差点の改良により渋滞が解消するとともに、渋滞に伴う追突等の事故削減が期待されます。

当該区間の混雑度
現況 : 1.49
→整備後 : 0.76



■事業効果2

急勾配や急カーブ箇所の解消による交通事故の削減

●急勾配や急カーブ箇所の回避により、走行性・安全性の向上が期待されます。

当該区間の急勾配、急カーブ箇所
現況 : N=4箇所
→整備後 : N=0箇所

